

## 第1学年〇組 学級活動指導案

日 時 令和元年〇月〇日 (〇) 第〇校時  
授業場所 1年〇組教室  
授業者 〇〇 〇〇  
生徒数 男子〇名 女子〇名 計〇名

### 1 議題

「学級目標に近づくための手立てを考えよう～学級目標を達成できるような新しい係を考えよう～」

(内容 (1) 学級や学校の生活づくり ア学級や学校に置ける諸問題の解決)

### 2 議題について

#### (1) 生徒の実態

#### (2) 議題選定の理由

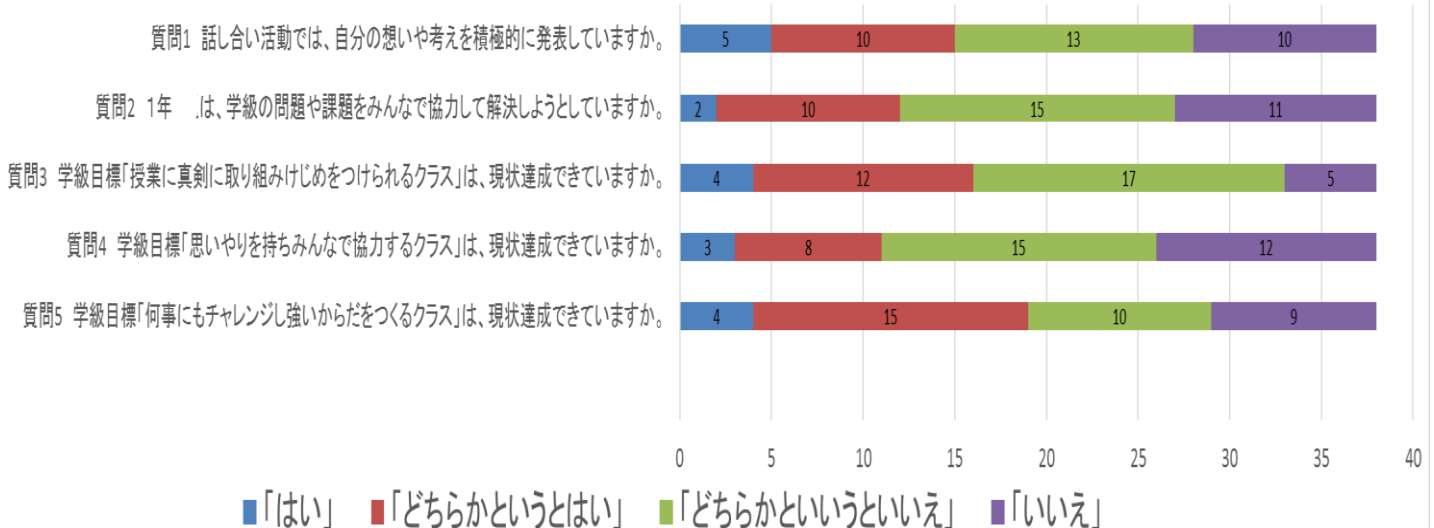
10月から後期の係活動が始まった。本学級の生徒は、あらかじめ決まった係や委員会の中で活動を行っている。これまでクラスをより豊かにするために必要な係を自分たちで考えて決めるような活動をしたことはない。「みんなで協力し思いやりのあるクラス」という学級目標のもと、よりよいクラスにしていくためには、生徒一人一人がクラスのために何ができるのかを考え、実行していくことが必要不可欠である。しかし、自らの考えた意見や行動が、クラスの形成に関わっていることへの意識や、自分に自信がなかなか持てないといった自己有用感の低い生徒もいる。実際に、生徒に実施したアンケートの結果では、「1年1組は、学級の問題や課題をみんなで協力して解決しようとしていますか」「学級目標「思いやりを持ちみんなで協力するクラス」は、現状達成できていますか。」という質問に対し、「どちらかというといいえ」、「いいえ」と回答した生徒が多い結果になった。そこで、係活動も新しく始動したこの時期に、もう一度学級において、より充実した豊かな学級生活が送れるような係をクラス全員で考えたい。そして、それを有効的に活用できるための話し合いや、集団決定する活動など、学級生活の向上につながる活動を行っていきたい。その中で、生徒一人一人が、クラスでの自己有用感を持つことが、学級目標に近づくための手立てであると考え、本題材を設定した。

< 1年〇組 学級会アンケート結果 > (令和元年〇月〇日 男子〇名・女子〇名)

4 「はい」 3 「どちらかというとはい」 2 「どちらかというといいえ」 1 「いいえ」

2学期 学級会話し合いアンケート結果					
質問1 話し合い活動では、自分の想いや考えを積極的に発表していますか。		4	3	2	1
		5	10	13	10
理	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を積極的に発表できている。</li> <li>周りが手を挙げないと自分も手を挙げられなかった。</li> </ul>				
由	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が行ったことに自信が持てない。</li> </ul>				
質問2 1年〇組は、学級の問題や課題をみんなで協力して解決しようとしていますか。		4	3	2	1
		2	10	15	11
理	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの意見の中で話し合いができています。</li> <li>解決しようとしている人もいるが、まだ協力的でない人もいます。</li> </ul>				
由	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いに参加しない人もいます。</li> </ul>				
質問3 学級目標『授業に真剣に取り組みはじめをつけられるクラス』は、現状達成できていますか。		4	3	2	1
		4	12	17	5
理	<ul style="list-style-type: none"> <li>2分前着席を守れている人が多くなってきている。</li> <li>メリハリを持って生活できる日とそうでない日がある。</li> </ul>				
由	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は真剣に受けられるが、移動教室の時に速やかに行動できない。</li> </ul>				
質問4 学級目標『思いやりを持ちみんなで協力するクラス』は、現状達成できていますか。		4	3	2	1
		3	8	15	12
理	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級委員が声をかけても、なかなか聞かない人もいます。</li> <li>手伝ってくれたりする人がいつも決まった人。</li> </ul>				
由	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧称準備の時間におしゃべりなど、自分のことを優先してしまう人が多い気がする。</li> </ul>				
質問5 学級目標『何事にもチャレンジし強いからだをつくるクラス』は、現状達成できていますか。		4	3	2	1
		4	15	10	9
理	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんな新しいことには真剣に取り組む、最後までやり遂げられている。</li> <li>いろいろな新しいことにチャレンジしている人が多いと思う。</li> </ul>				
由	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてにチャレンジはできていないけど、授業などには一生懸命取り組んでいると思う。</li> </ul>				

## 2学期 学級会話し合いアンケート結果



### 3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団、社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、他の生徒と協力して、自主的、実践的に集団活動に取り組もうとしている。	学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、集団におけるよりよい生活づくりなどについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団となして意見をまとめる話し合い活動の仕方などについて理解している。

### 4 事前の活動

月日	活動の場	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
10/25 (金)	学級委員・班長会	・学級生活の振り返り。	・生徒が主体となった取組を、学級で行えるよう、学級委員、班長の意欲を高める。
10/28 (月)	昼休み (学級活動委員)	アンケートの作成。	・自分たちのクラスがどのようなことができる集団になりたいのかを話し合わせ、それをアンケートの質問項目にしていく。 ・学級目標の達成を把握できるよう助言する。 <b>【関心・意欲・態度】</b> ◎クラスの理想像を素直に語るができてきている。(観察)
10/30 (水)	学活	アンケートの実施。	・学級目標の達成をある程度数値化できるよう助言する。
10/30 (水)	学活 (学級活動委員)	アンケートの集計。 議題の選定。	
11/1 (金)	朝の会前 (学級活動委員)	提案理由を練り上げる。 ・本時の活動計画を立て話し合いの柱を検討する。	・提案理由は、学級目標によりどこを求められるように助言する。 ・生徒の思いを聞きながら、話し合い活動の流れなどを検討し、活動の見通しを持てるようにする。 <b>【関心・意欲・態度】</b> ◎話し合い活動が深まるよう自主的・実践的に準備を進めようとしている。(観察)

11/5 (火)	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題、提案理由の発表。</li> <li>・自分の意見を学級ノートに書いてくるように生徒に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ本時の活動内容を周知させ、目的意識をもって当日を迎えられるよう指導する。</li> <li>・建設的な意見が積極的に出るように促す。</li> </ul>
11/6 (水)	学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の書いてきた学級ノートをもとに、柱1における話合いを行う。</li> </ul>	
11/7 (木)	昼休み (学級活動委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動委員が学級会で決定した意見を短冊に記入する。また、それらを掲示する。</li> </ul>	
11/11 (月)	朝の会前 (学級活動委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会指導。</li> <li>・リハーサル。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に生徒から出た意見を整理し、学級会の流れをつかむ。</li> </ul>

## 5 本時のねらい

○学級の一員としての自覚を高め、学級に対する所属感を高める。

○係を決めるという一つの目的に対し、共に協力しよりよい学級を作ろうとする自主的・実践的な態度を育てる。

6 展開

	活動の内容	指導の留意点 ◎目指す生徒の姿 (評価の観点)	資料等 【評価方法】
活動の開始	1 開会の言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隊形はコの字型。班でまとまるように配慮する。</li> <li>・司会は「学級会の進め方」のシナリオに沿って話し合いを進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会カード</li> <li>・記録用紙</li> <li>・司会マニュアル</li> </ul>
	4 提案理由発表	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>議題 「学級目標を達成できるような新しい係を考えよう」</p> </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>【提案理由】 ※提案者：◎◎さん</b></p> <p>1年〇組がスタートして半年が過ぎました。体育祭や合唱祭を通して学級目標の中にもある「みんなで協力し思いやりのあるクラス」の実現に向け頑張ってきました。</p> <p>しかし最近、自分のこと以外にクラスのことを考え積極的に動く場面が少なくなってきました。例えば背面黒板に翌日の教科連絡を書く人や、2分前着席を呼びかけるのはいつも決まった人です。学級目標の「みんなで協力し思いやりのある」ということは一人一人がこのクラスをより良くしていこうと考えることだと思います。そこで、後期の委員会や係活動が始まったばかりのこの時期に、クラスの学級目標を達成できるような自分たちだけの係を作り、それに向けた学級内での話し合いを通して、クラスみんなが〇組のことを考えられるような機会をつくりたいと考え、提案しました。</p> </div>		
	5 話し合いのめあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いにおけるルールを確認する。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標を達成できるような、クラスの新しい係をみんなで考え、みんなで決定する。</li> <li>・積極的な意見交換を行い、活発な学級活動にする。</li> </ul> </div>		
	6 ルール・決まっていることの確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の意見は最後まで聞く。</li> <li>・意見を発表する時は、根拠（理由）をつけて発表する。</li> <li>・反対する時は、よりよくなるような意見を言う。</li> <li>・少数意見を生かすことができるように考える。</li> <li>・”自分もよい、みんなもよい”と思える話し合いで集団決定し、みんなで実行する。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決まっていることを確認する。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係は学級目標が達成できるのでいくつでも良い。</li> <li>・あればあらかじめ出ている係から決定していく。</li> </ul> </div>	
		<p>◎本時の活動に意欲的に取り組もうとしている。【関心】 (観察)</p>	

活動の展開	<p>7 話し合い</p> <p>(1) 新しい係を決定しよう。</p> <p>(2) 係における工夫や配慮すべき点を考えよう。</p> <p>・話し合ったことの発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の3段階討議法を用いる。</li> <li>・事前に学級カードに自分の意見を書かせ、自信を持って意見を発言できるようにする。</li> <li>・話し合いが停滞した際に、自分の意見を深化させたりするために、小集団での意見交換の時間も設ける場合がある。</li> <li>・掲示物を使い、話し合いの進み具合が分かるようにする。</li> <li>・意見が出にくい場合や合意形成ができない場合は、別紙資料【みんなの意見をまとめよう】を参考に助言する。</li> <li>・意見が割れた場合、意見交換が十分にされたとなれば多数決で決定する場合もある。</li> <li>・必要に応じて助言を加える。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>提案理由について十分に理解し、理想のクラスに対する自分の思いを添えて意見を述べている。</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>学級や学校生活の充実・向上に向けて、グループや全体での話し合い、討論などによって解決する仕方を理解している。(観察)</p>
	<p>○話し合いが本筋から離れてしまっているとき。いくつもの意見が出て整理できないとき。 少数意見があまりにも尊重されていないとき。</p> <p>○時間配分が極端に計画からずれてしまったとき。結論を急ぎすぎているとき。</p> <p>○特定の子どもが攻撃されていたり、人権問題のある発言があったりしたとき。</p> <p>○子どもたちが自治的活動の範囲外になっていることに気が付いていないとき。</p>		
活動のまとめ	<p>8 決定事項の確認</p> <p>9 振り返り</p> <p>10 教師の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団決定されたことを受け、具体的に自分ができることについて考えさせる。</li> <li>・話し合いの流れを方向付けた発言や学級活動委員を称賛するとともに、実践へ向けて活動意欲を高めることができるように助言する。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>提案理由について十分に理解し、理想のクラスに対する自分の思いを添えて意見を述べている。</p>

## 7 事後の活動

月日 ( )	活動の場	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
11/15 (金)	昼休み	・学級会の決まったことを可視化するための掲示物作成。 ・活動開始	・掲示物を使いながら、決まったことを常に意識させる。
12/9 (月)～	帰りの会	・自分やクラスの活動を振り返る。	・自分の言葉で振り返りをさせ、決定事項の方策をクラスに定着させるよう助言していく。 【思考・判断・表現】 ◎学級会で決まったことを自分なりに工夫しながら実践している。(観察)
12/18 (水)	学活 【学級活動】	・2学期の振り返り	・決定事項を意識して生活できたかをアンケートを用いて確認する。 ・来学期への意欲を高めることを目的とする。 【関心・意欲・態度】 ◎話し合い活動が深まるように、自分自身やクラス全体の様子を振り返ろうとしている。

## 8 板書計画

